

実施報告書

事業 ID : 2018493904

事業名 : 折戸湾環境創造プロジェクト (上期) (海と日本 2019)

団体名 : 清水港開港 120 周年記念事業実行委員会

1 イベント名 : 折戸湾環境創造プロジェクト ～海と日本 PROJECT～

目的 : 清水港折戸湾の「今」を多くの方に知っていただき、海や港を身近に感じてもらうため、東海大学海洋学部の教授陣を講師に迎え、環境教育及び体験学習を行う。清水港に生息する生き物や環境について状況を把握し、折戸湾の環境改善について理解を深める。

テーマ : 沿岸環境のマイクロハビタットと生物多様性の関係性について

対象・定員 : 静岡市内の学校に通う中学生、高校生 定員 20 名

募集期間 : 平成 31 年 3 月 7 日 (木) ～ 4 月 5 日 (金)

活動場所 : 東海大学海洋学部・東海大学臨海実験場

東京海洋大学清水ステーション (清水区折戸周辺)

【春開催】

(1) 講義

○日時 : 平成 31 年 4 月 20 日 (土) 9 時 30 分～10 時 30 分 (受付時間除く)

○実施場所 : 東海大学 1 号館 2 階会議室

○参加者 : 18 名 (中学生 7 名、高校生 11 名)

○講義 : (1) 沿岸環境のマイクロハビタットと生物多様性を学ぶ

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 教授 石川氏

(2) 清水港・折戸湾の紹介

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 教授 仁木氏

(3) 折戸湾底生生物の調査

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 特任准教授 廣瀬氏

○取組内容 : 東海大学海洋学部の先生から、清水港の歴史や折戸湾の状況について学ぶことで、清水港に生息する生き物や環境について状況を把握し、現地調査に必要な知識を習得。海洋環境を身近に感じてもらった。



(2) 現地調査

- 日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土）10 時 40 分～13 時
- 実施場所：東海大学臨海実験場、東京海洋大学清水ステーション
- 参加者：18 名（中学生 7 名、高校生 11 名）
- 実施内容：コドラート法を用いた生物採集。4 つの班に分かれて、それぞれの採取地点で、生物の採取に取り組む。



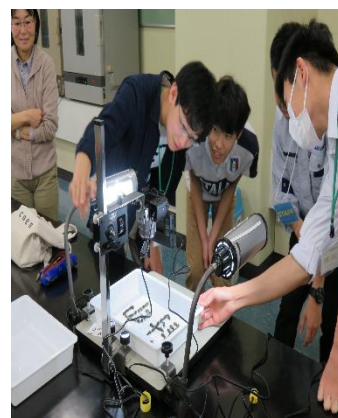
(3) 同定作業

- 日 時：平成 31 年 4 月 21 日（日）9 時 30 分～12 時（受付時間除く）
- 実施場所：東海大学 8 号館地階 生物学実験室
- 参加者：21 名（中学生 7 名、高校生 14 名）（4 班に分かれて作業を実施）
- 実施内容：(1) 標本を記録する

(2) シンプソンの多様度指数を計算する

現地調査にて採取した生物を専門的な資機材や図鑑を用いて、生物名の特定を行う。そして、採取した生物について、種別ごと個体数を把握し、生物多様性について学ぶ。

- 採集物：ゴカイ、アサリ、カニ など（別紙資料 参照）



【秋開催】

(1) 現地調査

- 日 時：令和元年9月28日（土）10時～12時30分（受付時間除く）
- 実施場所：東海大学臨海実験場、東京海洋大学清水ステーション
- 参加者：18名（中学生7名、高校生11名）（4班に分かれて調査を実施）
- 実施内容：コドラート法を用いた生物採集。4つの班に分かれて、それぞれの採取地点で、生物の採取に取り組む。



(2) 同定作業

- 日 時：令和元年9月29日（日）9時30分～12時（受付時間除く）
- 実施場所：東海大学8号館地階 生物学実験室
- 参加者：19名（中学生7名、高校生12名）（4班に分かれて作業を実施）
- 実施内容：(1) 標本を記録する
(2) シンプソンの多様度指数を計算する
(3) 採集場所（4地点）での違い、春と秋での生物の違いについて、班ごと意見交換
- 採集物：ゴカイ、アサリ、カニ など（別紙資料 参照）



2 イベント名：海洋スポーツ スタンドアップパドル体験&生息生物観察～海と日本PROJECT～

- 目的：スタンドアップパドル（SUP（サップ））体験や折戸湾に生息する生物の観察を通じて、海への親しみを深める。
- テーマ：海洋スポーツと海洋生物のふれあい体験
- 対象・定員：小学生及びその保護者 10組 20名
- 募集期間：令和元年7月24日（水）～8月12日（月・祝）

活動場所：三保内浜海水浴場周辺（清水区三保）

【海洋スポーツと海洋生物のふれあい体験】

○日 時：令和元年8月24日（土）9時～12時30分（受付時間除く）

○実施内容：(1)スタンドアップパドル体験

講師 東海大学 海洋学部 清水教養教育センター 准教授 村山氏

講師 東海大学 海洋学部 海洋フロンティア教育センター

特任講師 合志氏

講師及びスタッフの指導のもと、親子でマリンスポーツの一つである、スタンドアップパドルの体験を実施。体験は、前半戦と後半戦の2回実施し、前半は、スタンドアップパドルに慣れてもらい、後半は、自ら立ってパドルを漕ぎ、三保内浜の海を散歩する。

(2)生息生物観察

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 教授 石川氏

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 特任教授 竹内氏

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 教授 仁木氏

講師 東海大学 海洋学部 環境社会学科 特任准教授 廣瀬氏

講師 東海大学 海洋学部 水産学科 特任講師 高見氏

当日の朝、三保内浜で採取した生物を題材とした生息生物観察を実施。小魚やヒトデを観察し、ウニの解剖を通じて、海洋生物について学ぶ。

○参加者：12組24名（県内小学生5・6年生及び保護者）

○実施場所：(1)三保内浜海水浴場周辺

(2)東海大学清水校舎三保マリンスポーツ実習施設





3 イベント名：海洋調査船 望星丸 洋上セミナー ～海と日本 PROJECT～

目 的：海についての知識・理解を深め、東海大学の海洋調査船「望星丸」での乗船体験を通じて、駿河湾の特徴と魅力を改めて見直すとともに、海洋全般の教育と研究の内容を理解する。

対象・定員：静岡県内の中学生、高校生 定員 80 名

募集期間：令和元年 7 月 3 日（水）～ 7 月 21 日（日）

開催場所：静岡市岸壁 付近（清水区清開一丁目 173 番 1）

【洋上セミナー】

○日 時：令和元年 7 月 27 日（土） 8 時 30 分～12 時 30 分（受付時間除く）

○実施場所：静岡市岸壁 付近（清水区清開一丁目 173 番 1）

○参加者：16 名（中学生 6 名、高校生 10 名）

○実施内容：(1)望星丸の説明及び見学

(2)講義 海洋関係及び海洋政策について

講師 東海大学 静岡キャンパス長 山田氏

(3)稚魚クイズ

講師 東海大学 職員 玉井氏

魚の写真を使用して、稚魚が成長するとどの魚になるのか、成長後の魚の名称を参加者同士で考える。

(4)標本観察

講師 東海大学 海洋学部 水産学科 特任講師 高見氏

標本を見て、魚をはじめとする海洋生物の説明を受ける。

(5)水圧実験

後日、CTD（海洋観測の測器）にて、器を海に沈めて水圧実験を行う。

※当日の悪天候により、内容を変更し、駿河湾沖への出航を取りやめ開催。



4 ラジオ番組での体験報告及び海洋環境啓発

○番組名：日曜ネイチャーランド（毎週日曜午前10時～午後0時55分）

○時間・回数：(1)風のささやき 午前10時15分頃～10時35分頃

5/5～9/29 計22回

(2)海のみらい・ふしぎ探検隊 午前10時40分頃～11時

8/18～9/29 計7回

○内容：(1)「折戸湾の環境保全等に関する調査」「海洋調査船の体験航海による洋上セミナー」参加者等へのインタビュー

(2)海洋環境啓発

○放送局：株式会社エフエムしみず

5 中学生による海をテーマにした放送作品の作成・放送

○事業名：コミュニティーFMを活用した中学生の海洋に関する意識啓発の発達

○参加校：清水区内の中学校14校

○制作CM数：45種類

○期間：4月1日（月）～9月30日（月）

○時間：月～金／午前8時45分頃、午後5時40分頃

土曜日／午前 11 時 20 分頃、午後 2 時 30 分頃

日曜日／午前 10 時 58 分頃、午前 11 時 35 分頃

- 内 容：株式会社エフエムしみずで 40 秒を 1 日 2 回スポット放送、参加校での校内放送。
- 放 送 局：株式会社エフエムしみず

6 ラジオ番組での体験報告及び海洋環境啓発

- 事 業 名：イベント開催時の特別番組放送
- 特別番組：ボクらのみなと～笑顔の未来～
- 放送日時：7 月 13 日（土）午前 10 時～午後 4 時
- 出 演 者：本田兄弟（人力舎所属芸人）、奥野晃士（SPAC 俳優）、持塚三樹（現代作家）他
- 放 送 局：株式会社エフエムしみず